

(振興局調整費)

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
総務企画部	齋藤秀樹	地域企画課	企画・観光振興班	堀川 克利	0187-63-5114	ワーク・ライフ・バランス推進体制整備事業	仙北地域の人口の自然減縮を図るため、父親の育児や家事への主体的・積極的参加を促す普及啓発資料を作成・配布し、ワーク・ライフ・バランスを実現する。	319,575	直営	・父子手帳の作成 A6版 大仙市分1,000部、仙北市分250部、美郷町250部 ・ファザーリング東北フォーラム2019いわて参加 開催日 令和元年11月16日 参加 2名	県	子育て世代の者	平成31年4月1日	各市町男女共同参画担当課を通じ、令和2年4月1日から父子手帳の配布を開始した。マスコミへの投げ込みや3市町の広報誌に掲載し、周知が図られてきている。	ワーク・ライフ・バランスの推進について、父子手帳の交付により父親の家事や育児に対する意識改革は進むものと考えられるが、父親が被雇用者である場合、併せて雇用者に理解を深めてもらう必要がある。このため、今後は雇用者向けにワーク・ライフ・バランスの普及・推進の取組を行う。
						令和元年10月29日～令和2年3月27日							令和2年5月20日		
福祉環境部	豊島優人	健康・予防課	健康・予防班	大門 洋子	0187-63-3404	高齢者・障害者福祉施設等に対する感染症対策強化事業	施設の感染症発生事例を対応した中で、感染対策が不十分であることや職員が対応に苦慮していたことがわかった。このため、感染症対策や支援の必要性等の実態を把握し、実情に応じた対策を提示する。	187,578	直営	令和元年9月～10月感染症対策実態調査 10月30日事前検討会 11月26日実践力強化研修会 参加 施設の実務担当者等 106名 令和2年1月研修会実施後調査	県	高齢者・障害者福祉施設の職員	平成31年4月1日	実態調査にて把握した内容を基に感染管理認定看護師等と研修会を立案したため、現場の課題解決に向けた内容であった。事後調査により研修会内容が施設にて活用されていることが確認できた。	事前・事後調査の回答率は8割程で、研修会の参加者も106名と感染症対策への関心の高さが伺えるが、感染症対策は全職員が習得すべきことであり、継続して実施する。
						令和元年8月7日～令和2年2月19日							令和2年5月20日		
農林部	石井公人	農村整備課	ふる里づくり班	沢田 明彦	0187-63-6117	低コスト雪冷房システム普及支援事業	県では高収益性の農作物生産を増大させる必要があるため「園芸メガ団地」の造成に取り組んでいるが、園芸作物ハウス内は気温が上昇することから、高温に伴う作物生育障害が課題となっている。ハウスでの安定的な作物生産を行うには、低コストな冷房システムの導入が不可欠であり、雪の冷熱エネルギーによる冷房システムが対策の一つと考えられている。本事業により雪冷房システムの実証試験を行い、今後の普及・啓発を目的とする。	407,000	委託	冷熱エネルギー源の雪山の造成を行うとともに、造成時間や密度等についてデータ計測・収集を実施した。 体積609m ³ 造成時間3日、密度80%	(株)秋田農販	農業法人等	令和元年12月2日	雪山の造成にかかる時間や雪山の密度等、今後の雪冷房の基礎諸元となるデータを収集することができた。	気象状況により、降雪状況が異なることから安定的な雪の確保が課題となる。今後、雪冷房システムの実働により課題等を検討しつつシステムを確立させ、普及を目指す。
						令和元年12月2日～令和2年3月27日							令和2年5月20日		